



未来を夢見て

2020/9/23 No. 37

墓地には ひがん花が、赤い切れのように咲き続けていました。（中略）

人々が通ったあとには、ひがん花が ふみおられていました。

宮城県には、コロナ緊急警報が出されました。

4連休でしたが、私も20日（日）に石巻の実家の墓参りに出かける以外は、自宅周辺で過ごすことにしていました。

その20日は午後天気にも恵まれたので、久しぶりに長い距離を走ってみることにしました。写真上は澱橋から見た広瀬川。左手河原にはたくさん、丸石が堆積してあるので、「流れる水のはたらき（4年 理科）」の教材に使えそうです。

写真上から2番目は広瀬川沿いの河原の風景です。

私の背丈よりもススキが伸びていて、いつの間にか秋が進んでいたことを実感しました。心地よい風に揺られて、なびくススキを見ると、サトウハチローさんの『秋の子』が浮かんできます。

すすきの中の子 一、二、の三人
はぜつりしてる子 三、四、の五人
どこかで やきぐり やいている
つばきを のむ子は 何人だろな

『私の過去の記憶に重なる情景はないのですが、想像するだけで実体験のような不思議な淡い彼方の思い出のように浮かびます。どこか懐かしい風景・・・』

と、薬師丸ひろ子さんも語っています。

美術館周辺から定禅寺通りを抜けて、榴岡公園周辺にもどると、思わぬ出会いがありました。

写真下から2番目、彼岸花です。別名は曼珠沙華（マンジュシャゲ）、地下の鱗茎（球根）に強い毒性がある有毒植物でもあります。

そして、彼岸花が登場する物語といえば、新美南吉の『ごんぎつね』です。現在も4年生の教科書に登場するこの作品は、長く教材として使われてきただけでなく、大人になった私たちからも愛されています。

一番下の写真は、拙宅にある『ごんぎつね』の絵本です。いもとようこさんの絵が本当にすばらしく、教科書で読む『ごんぎつね』以上に、ごんや兵十の情感が豊かに表現されています。

さて、標記の場面、みなさんご存じの通り、ごんが葬式（兵十のお母さん）を知った場面です。

ふみ折られたのは彼岸花だけではなくて、ごんの心も同じです。

私はこれまで、4年生の担任を4度させていただきました。その度に感じてきたのは、よい教材（素材）は、そのものだけで子供の心を惹き付け、子供たちの心を成長させてくれる、ということです。ぜひ小野小学校の4年生のみなさんも、担任の先生とじっくりこのお話を味わってくださることを願います。

（文責：手代木）

